

大阪府立北野高等学校 SGH課題研究中間発表会報告

11月19日（土）の9時から、北野高等学校内の六稜会館ホールにてSGH課題研究中間発表会が行われました。研究活動報告を発表したグループの表題と発表の要点は以下の通りです。（発表順、※は英語による発表。）

社会系第一グループ 消費行動と広告の関係性

～アンケートの因子分析を行い、東南アジアにおける広告戦略を考える。

社会系第二グループ 東南アジアと日本と観光を考える

～アンケートの因子分析を行い、東南アジアからの観光需要喚起を考える。

理系第一グループ 光のいたずら ― 眼は欺かれる… ―

～錯視について研究し、錯視のしくみを利用した社会への貢献を考える。

英語系第一グループ※ **Change into better monastic schools in Myanmar**

～ミャンマーの農村部で寺院が経営する学校を改革する方策を考える。

英語系第二グループ※ **Monorail of Bandung**

～渋滞が深刻化するインドネシアのバンドンにおける交通環境を考える。

社会系第三グループ みず

～ベトナムのハイフォンにおいて水道事業を展開する提案について考える。

社会系第四グループ **OBENTOU** で **OKENKOU**

～マレーシアのクアラルンプール近郊でヘルシーな弁当を販売する事業を考える。

指導・助言者の皆様からは、タイトルのつけ方、データ提示の方法（グラフなどを用いて見やすくする工夫）、データをもとに仮説を導く際に留意すべきこと、事業モデルの提案は誰に対してのものなのか、身近なところから研究テーマを見つけることの重要性など、厳しいながらも貴重なご意見をいただきました。なお、今回の中間発表会では、今年の夏季休業期間中に行われたハワイ大学研修（本校SGHの取り組み）およびケンブリッジ大学研修（GLHSの取り組み）に参加した生徒がその様子を英語で報告しました。

午後からはSGH運営・指導委員会が開かれました。文部科学省による中間評価を受けて、本校が次年度以降重点的に取り組むべき方向や成果を検証する方法などについて、運営・指導委員の皆様から貴重な助言をいただきました。

最後になりましたが、ご多用にもかかわらず中間発表会の開催・運営にご協力いただきました皆様にあらためて感謝申し上げます。

